

① だれの いしはな 動かもしない。

「いぬね。」



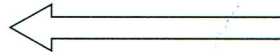
だれ

と、雪が 言いました。

「わたしも、早く とけて

水に なり、とおくく 行って

あそびたいけど。」



だれ

と、上を 見上げます。

「竹やぶの かげに なって、

お日さまが あたらなう。」



だれ

と ぜんねんそうです。

「すまなう。」

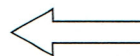


だれ

と、竹やぶが 言いました。

「わたしたちも、ゆれて おどりたい。」

ゆれて おどれば、雪に 日が あたる。」



だれ

と、上を 見上げます。

「でも、はるかぜが こないと、おどれなう。」



だれ

と ぜんねんそうです。

②うゐに くらいつて 寝めだらうにや 1つ ねむし せうや くらねえちゃん。

「ねえね。」

と、雪が 言いました。

「わたしも、早く とけて

水に なり、とおくく 行って

あそびたいけど。」

と、上を 見上げます。

「竹やぶの かげに なって、

お日さまが あたらない。」

と ぜんねんそうです。

「すまない。」

と、竹やぶが 言いました。

「わたしたちも、ゆれて おどりたい。」

ゆれて おどれば、雪に 日が あたる。」

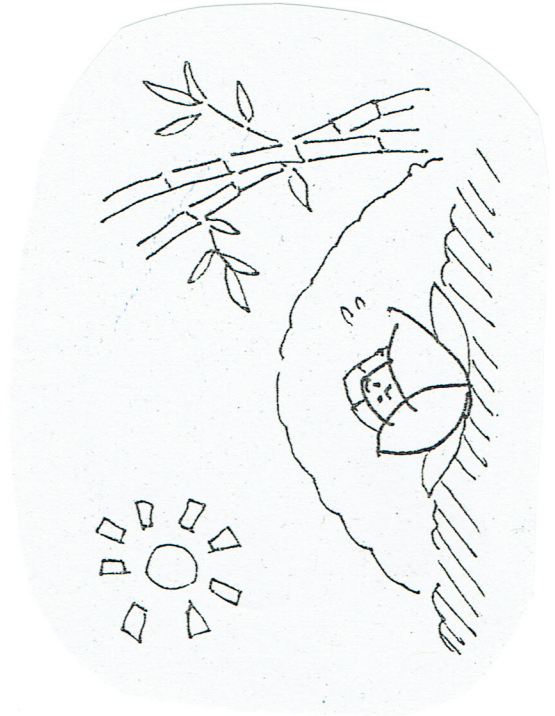
と、上を 見上げます。

「でも、はるかぜが こないと、おどれない。」

と ぜんねんそうです。

③くらいつたじふが したわるみに 川から 寝ねえちゃん。

④うゐのなじふを くらいつて 寝ねえちゃん。



③ (シチュエーション別)

『言い方がちがうね。』

「いめんね。」

だれに 言っているのかな。

と、雪が 言いました。

「わたしも、早く とけて

水に なり、とおくへ 行って……

あそびたいけど。」

と、上を見上げます。

「竹やぶの かげに なって、

お日さまが あたらない。」

と、ざんねんそうです。

だれに 言っているのかな。

「すまない。」

と、竹やぶが 言いました。

「わたしたちも、ゆれて おどりたい。」

ゆれて おどれば、雪に 日が あたる。」

と、上を見上げます。

「でも、はるかぜが こないと、おどれない。」

と、ざんねんそうです。

みんな あそびを するのかな。
 七けた あそびだるまのうしろに
 なって やつてみる。

〈お話を いちばんの ちいさな〉
 ○いそぎをたのしむ、いそぎをたのしむ
 ○のびる、のびる
 ○あいたを あけて
 ○ゆき、ゆき、ゆき、ゆき
 ○あそびをいそいで
 ・いそいで
 ・かなしい
 ・やわしい
 ・おどる
 ・たのしい
 ・がっかり
 ・しあわせ

いそぎを たのしむ
 書いてみる。

「ゆれて おどる」って
 どんな かんじかな。
 竹やぶに なって やってみよう。

(解説例)「すまない。」は、大人が 言ってみたら、読んだ。

「でも、はるかぜが こないと、おどれない。」は、みんなが 読んだ。
 たのしむ、いそぎをたのしむ

「七けた あそびだるまのうしろに
 なって やつてみる。」は、みんなが 読んだ。